

各位

2013年12月10日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部（広報）担当：立花
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成25年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比101.9%、学生団体は同106.0%と、ともに前年を上回り、団体旅行合計で同103.5%と前年を上回った。企画旅行については、東アジア情勢や円安の影響は継続しているものの、同98.2%とほぼ前年と同水準であった。個人旅行については、同96.3%であった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比99.2%と、ほぼ前年と同水準であった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比98.7%、学生団体は同97.9%となり、団体旅行合計で同98.2%とほぼ前年と同水準であった。企画旅行については同107.3%と前年を大きく上回り、個人旅行については、同100.2%と前年と同水準であった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比103.3%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比108.2%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は前年比102.0%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は円安の影響を受けつつも、視察・研修をはじめとする法人需要を取り込み、前年比104.2%と前年を上回った。学生団体は修学旅行を中心に同106.0%と前年を上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比104.9%と前年から伸長した。国内団体については、一般団体は前年比99.9%の前年同水準となり、学生団体は同97.9%と前年を僅かに下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比98.7%とほぼ前年と同水準であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比98.9%とほぼ前年と同水準であった。方面別取扱人数の状況では、伊勢志摩、中国四国、首都圏方面などが前年を大きく上回り、好調を維持している。ホリデイは、販売割合が高い東アジア方面を中心として不調であり、特に中国方面については引き続き大きく低迷している。東南アジア方面は好調であるものの、各方面とも低価格帯商品のラインナップを縮小させた影響もあり、全体の取扱人数、取扱額とも前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、米政府機関の閉鎖によるツアー中止の影響はあったものの、クルーズや欧州方面などが好調に推移し、全般的には前年水準を上回った。バス旅行を除く国内旅行部門は、相次ぐ台風の影響を受けたが、伊勢と出雲方面が好調の牽引役となり、前年比111.7%と前年を大きく上回った。バス旅行部門も同116.6%と、前年から大きく伸長した。テーマ旅行部門は台風の影響を受けつつも、引き続き「国内ひとり旅」をはじめ販売が好調であり、前年比105.7%と前年を上回った。

以上